

こんにちは

庄内町議会



No.70
6月議会号
3.7.15



クラッセ 金魚まつり

関連記事 P.18

- ◆ 新型コロナ対策……………〈補正予算〉 P. 2
- ◆ このように決めました……………〈議案〉 P. 4
- ◆ 町政を問う……………〈一般質問〉 P. 6
- ◆ 体験しました……………〈議会傍聴〉 P.14
- ◆ 定数・報酬まとまる……………〈議会解体親書〉 P.16

臨時交付金事業 のポイント

6月
定例会

会期

6月8日(火)から
15日(火)まで

各会計補正予算
6件

令和3年度一般会計補正予算は、収入支出それぞれ1億2823万円（内6000万円は追加議案）を追加し、収入支出それぞれ123億9644万円とするものです。

主な補正は、いまだ収束が見えない新型コロナウイルス感染症関連です。そのような状況の中、国・県・町ではさまざまな対応を講じてきました。

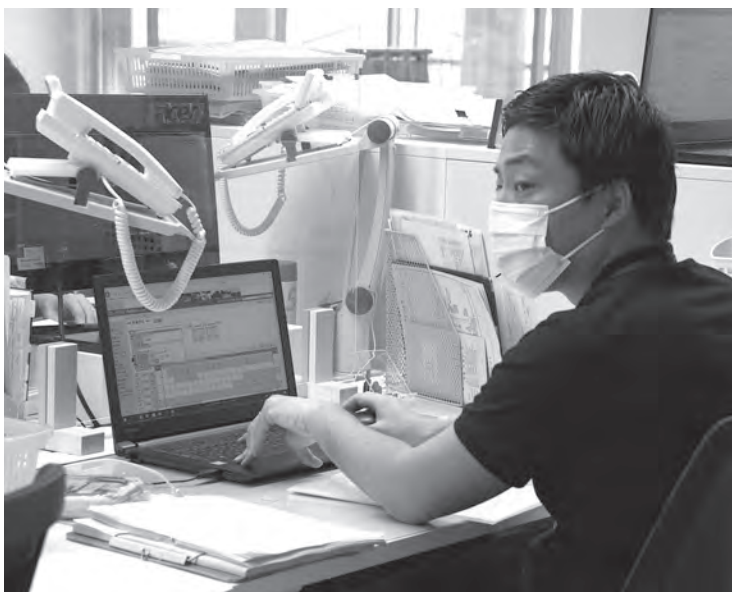
本町では、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限に活用するための、補正予算案が出され賛成全員で可決されました。



これで安心

5月から高齢者を対象とするワクチンの集団接種が始まりました。今後、ワクチン接種がスムーズに進むように医師、看護師の確保等を含め、接種体制を強化する事業費です。

新型コロナウイルスワクチン
接種対策費及び
接種体制確保事業費
5069万円



ハンコなしで決裁

役所内の文書を電子データ化し、ペーパーレスとすることで押印等が省略され、作業の効率化を図るものです。

電子決裁システム構築委託料
1034万円

条例制定
4件

条例設定
1件

事件案件
1件

請願
2件

発委
2件

契約案件
1件

選挙
1件

以上
18件
原案どおり
可決

令和3年度 新型コロナ対策

地方創生 補正

対象店舗で“ペイペイ”を使って、最大20%相当が還元されることから、想定を上回る利用があり、当初予算額の2400万円に、追加で増額となりました。

**キャッシュレス決済
導入促進支援事業
6000万円**



ペイペイ使ってますか



自動で清潔

道の駅しようない（風車市場）は、他市町村からの往来が激しいため、感染症対策の一環として、自動ドアを設置するものです。

**農産物交流施設
自動ドア設置工事
291万円**

支援対象者は、生理用品を購入することが困難な女性及び女子児童生徒になります。

**女性の衛生用品
支援事業
11万円**



手洗いは予防の第一歩

余目第二、第三、第四、狩川、清川の各公民館で、トイレの手洗いを自動水栓化にするものです。

**避難所
安全・安心
環境整備事業
85万円**

循環路線 出発点を役場に統一

条例制定

議案

このように決めました



乗客の利便性向上を図るために、町営バス循環路線の従来の始点は「アピア・町湯」と「庄内町役場」の2箇所になっていましたが、今後は「庄内町役場」に統一されます。



役場で待っています

古関消防団に配備

契約案件

消防ポンプ自動車購入



これでパワーアップ

イメージ

6 契約の相手方	5 契約金額	4 納入場所	3 納入期限	2 型式及び数量	1 品名
タイコー警備保障株式会社	2365万円	庄内町役場	令和4年3月15日	CD11型 4WD 1台	消防ポンプ自動車

5月11日に臨時会が開催され、一般会計補正予算で、収入・支出それぞれ2206万円を追加しました。主な追加は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業で、若者UIJターン支援事業、テレワーク移住体験支援事業、オンラインスキルアップ講座受講支援事業の補助金、1120万円等です。他には、健康維持の外出応援事業として、住民税非課税世帯の75歳以上の方への生活支援品300万円等です。

賛成全員で原案通り可決されました。

臨時会
5月11日(火)

請願2件

採択

コロナ禍による

米の需給改善と米価下落対策

を求める請願

請願者

庄内農業農民運動連合会

会長 渡部 正一

国に対する

意見書

※抜粋

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の消失から2020年産米の市場価格は大暴落した。2021



八十八度の手がかかる

年産米については、本町においても、対前年比で426t、74haの減産に取り組んでいる。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による、さらなる消費減少と相まって、2021年産米は昨年以上の米価下落が危惧されている。農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政府の枠組みにとられない対策が求められる。

以上の趣旨から意見書を提出する。

- 1 コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。
- 2 政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困窮者・学生などへの食料支援で活用すること。
- 3 主食用米から飼料用米等への転換にあたっては、産地交付金などの一層の増額をはかり、主食用米並みの所得を生産者に補償すること。



この環境を全国に

安全・安心で、ゆきとどいた教育の

実現のために、30人学級の実現

を求める請願

請願者

少人数学級をすすめる県民の会

世話人代表

高木 紘一（山形大学名誉教授）

伊沢 良治（高畠町議員・元小学校校長）

佐藤 匡子（社会福祉法人たんぼぼ会理事長）

国に対する

意見書

※抜粋

教育現場は、いじめや不登校、教育格差の拡大など、さまざまな課題に直面している。そんな中

で子どもたち一人ひとりの不安やストレスに 대응することのできる少人数学級を求める声が大きく広がっている。

しかし、40年ぶりに改正された義務教育基準法では、5年計画で小学校の35人学級を実現するというもので、中学校以降は変わらず40人学級であるという不十分な内容だ。

今後、子ども一人ひとりを大切にする教育を推進するための法改正が求められている。

以上の趣旨から意見書を提出する。

- 1 義務教育の全学年で30人学級の少人数学級編制を実現すること。
- 2 対象校の学年が単学級で、学級の分割を選択しない場合は、副担任を置くことを可能とし、その経費は交付税措置とすること。
- 3 30人学級の少人数学級編制実現のための財源を確保すること。

町政を問う

一般質問

6月10日
11日

全質問・全文は



庄内町議会 HP



将来は議員をめざしてもらいたい

余目第2小のみなさん

質問全項目

通告書のまま、質問順で掲載。●印を掲載しています

上野 幸美議員

- 支援措置について
- 危険空き家について…………… P 7

工藤 範子議員

- 安全対策について
- 金婚祝賀記念式について
- 災害に備えての対応策について
- 子育て支援について…………… P 7

國分 浩実議員

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について
- 防災無線について…………… P 8

小林 清悟議員

- 行財政改革推進計画について
- 健康寿命の延伸について…………… P 8

鎌田 準一議員

- 集落支援員制度導入と地域づくりのこれからについて…………… P 9

加藤 将展議員

- 町営バスの交通経路の見直しと新しい交通手段の検討について…………… P 9

- 役場の清川・立谷沢出張所廃止の再考について…………… P 9

長堀 幸朗議員

- 公債費負担比率の改善策について…………… P 10
- 教育関係費の削減と学校統廃合問題について…………… P 10

阿部 利勝議員

- 消火栓について…………… P 10
- 本庁舎駐車場について…………… P 10
- 専門性を有する職員の人事について…………… P 10
- 商工観光課について…………… P 10

澁谷 勇悦議員

- 消防防災行政について…………… P 11

齋藤 秀紀議員

- 庄内町の将来について…………… P 11
- 農業支援について…………… P 11
- 新型コロナウイルスワクチン接種について…………… P 11

石川 保議員

- 高速交通網の整備について…………… P 12
- 新型コロナウイルスワクチン接種について…………… P 12

小野 一晴議員

- 図書館改築について…………… P 12
- 公職選挙法施行令の改正について…………… P 12
- 新型コロナウイルスワクチン接種について…………… P 12

空家対策

危険回避の対応急げ

町長 解決に向けて対処していきたい



上野 幸美 議員

問

倒壊の危険性が高い危険空家は、町内に18件あり、中心商店街にもある。住民、通行者(車)に危険なため早急対応が必要である。庁内検討会議では、どう話し合っているのか。今後の見通しはどうか。

町長

庁内検討会議は、危険空き家のためには開催してないが、個別の案件について一つひとつ状況が分かってきているので、それをクリアすることで次に進めると理解している。また、民間の力

を借りて解決することできないか指示をしている。

問

「庄内町空家等の適正管理に関する条例」には、行政代執行・過料措置がない。これまでの対応では、住民の安心安全な暮らしは守られない。踏み込んだ対応をすべき、通学路もある。条例改正し実行性のあ



キケン なんとかして イメージ

る対応をすべきであるかどうか。

町長

本町の条例では命令までで、過料等もない形になっている。条例制定の段階で代執行や略式代執行まで踏み込むということは考えていなかった。何とか町の方で応援して個人の財産は個人で適正に対処していただきたいと思う。

医療費無料化

高校卒業まで拡大せよ

町長 来年度に向け検討する



工藤 範子 議員

問

高校卒業までの医療費無料化の拡大は、(県内35市町村ある)24市町村で実施されている。(この件でこれまで13回質問)

本町でも、他市町村のように実施すべきではないか。

無料化を高校卒業まで拡大すると、医療費はどの位の金額となるのか、試算はされているのか。

町長

令和2年度の中学生の医療費の実績が約9百万円であった。中学校と高校

の生徒数が500名程度と、同じくらいであり、他の市町村の例から見ても同程度であるので、令和2年度の中学生の実績と同じぐらいと今のところ見ている。

問

次年(令和4年)度予算には組み入れるべきではないか。医療費については、

懸念する必要はないのである。

町長

本町は中学までの医療費無料化を県内でもいち早く取り組んだ町でもある。こういう事情からすれば当然高校まで無料化を考える必要があると思う。来年度に向け予算の状況も含めて検討させていただきたい。



足も痛いふところも

防災無線

戸別受信機普及を考慮せよ

町長 低廉化を見据え考える



国分 浩実 議員

問

防災無線については、多くの質問があり、町としても様々な工夫をしていると思うが、依然として聞きにくいとの苦情が多い。総務省では「情報難民ゼロプロジェクト」と称して防災無線の研究を

しており、その中でも戸別受信機の普及を図りたいとしている。ある報道でも災害時に効果的だとしている。受信機はまだ高額だと言われているが、国でも推進していることから、今後、本町で

も普及に努めるべきかどうか。

町長

県内の設置状況は、35市町村のうち戸別受信機は全戸が4団体。一部が17団体で、これには庄内町も含まれている。

スマートフォンがあれば登録制メール、庄内町LINE、町のホームページで確認できる。一方、高齢者世帯

やスマートフォンを持たない世帯等にとって、戸別受信機は非常に有効な方法だと思う。今後、受信機の低廉化の動きもあるようなので、それを見据え、町としては、そのような世帯へ優先的に進めていくべきではないかと考えている。



よく聞こえて安心

健康寿命

延伸に力を入れよ

町長 体制整備を図る



小林 清悟 議員

問

コロナ禍の中、外出自粛の動きから、高齢者が外出を過剰に自粛することで、筋力などが衰え、介護が必要になるリスクが高まっているのではないかと危惧され、健康寿命を延ばす取り組みが重要と考える。

まずは今後の取り組みのため、高齢者の活動状況を把握するアンケート調査を実施してはどうか。また、高齢者の運動機能や認知機能の低下防止のため、健康推進指導員を配置して、少人数での教室や

体操、講話などを実施してはどうか。

町長

アンケートは必要なことだとは思いますが、必ず今年度実施できるかは、明言できない。

新型コロナウイルスが拡大する前は、3人以上でいきいき百歳体操などをやりたい方へ、町の方で支援をしていた。そこに健康推

進指導員を配置するかどうかは、改めて検討させていただきたい。また、来年度に向けて高齢者の保健事業と介護予防の一体的取り組みについて、人員的なものも含めて体制整備をすることとしている。



元気が一番

地域づくり

プレゼン型交付金設置せよ

町長

相談するやり方で進めたい

務についてはどうか。



鎌田 準一 議員

問

地域に資する活動交付金に、

集落支援のための交付金と地区公民館運営に資する交付金がある。

将来的に統合し持続可能な地域づくりをテーマに、プレゼン型交付金を設置してはどう

か。また、集落支援員制度は国の過疎対策として示したものが、

町では地区公民館のコミセン化や指定管理移行のための調整役として委嘱した。制度活用

の経緯や支援員の方々の人材を生かし育てることも含め、具体的職

町長

地域のビジョンを作るまでには何年かかかると思われる。プレゼン型交付金と銘打つ形ではないが、地域の人々が課題を解決するために、相談するようやり方で、当面進めることになるかと考えている。

平成20年頃に集落支援員制度が創設され、

改めて特別交付税措置になるということも含めて検討してきた。地域づくりというのは、

地域住民や地域運営組織が主体となって進めることに変わりはない

く、集落支援員は、そのサポートをするというのが仕事になる。



集落支援員は町と地域のかけ橋

デマンドタクシー

町長

見直せる部分は見直す

さらなる利便性に向け見直せ

うに運行方法を見直すべきではないか。



加藤 将展 議員

問

昨年十二月議会で、町営バスの

の運行経路の見直し、デマンドタクシー等の活用を指摘したが、現在、実施に向け検討しており評価できる。ただし、本町のデマンド

タクシーは路線・停留所が固定されていて使いにくい。一方、鶴岡・酒田市は自宅まで送迎し、行き先も数多く設定されている。デマンドタクシーは車を運転しない高齢者の足として極めて有用である。

交通の便の悪い地域の住民が利用しやすいよ

町長

デマンドタクシーは、酒田余目線という路線バスの代替として、余目駅と日本海病院を考えている。そこを結ぶルートであり、バス停で乗ることを残した。地域の人を全部拾うことはなかなか成立しない。町営バスの料金は、

様々な意見をいただいたが、見直せる部分は見直しつつ進めていきたい。

昨年適正な受益者負担ということで上げさせていただいたが、実は95%は無償の方々が使っている。更に利便性を求めたデマンドタクシー化については、態勢も含めて調査、研究していかなければと考える。



わかりやすく使いやすく

※ デマンドタクシー：町に登録し、予約の上低料金で利用できる乗り合いタクシー（町が委託）。

※ 公債費負担比率：一般財源総額に占める公債費の比率のこと。
 ※ 財政シミュレーション：長期的な視点から一定の条件のもとに推計したもの。

公債費負担比率

計画的に改善せよ



長堀 幸朗 議員

問

公債費負担比率が今後5年間は危険ラインの20%程度となる見込みである。毎年6千万円の利子支払いであり、過去に1億円以上だったこともある。これに反対する。新たな公債費を用立てないなど計画的に改善していかないのか。毎年1%減、5年で15%程度となる財政シミュレーションを作れないか。多くの市町村は寒々と生活するな

としてできている。

町長

不必要な借金はしていない

町長

必要な事業はしっかりと担っていくことが大事である。お金は貯めるためにあるものではなく、有効活用するためであると思う。

公債費比率を下げることは何もしなければ可能であるが、そうはいかない。例えば新型コロナウイルスの状況の中であれば、景況がどうなるかも含めて先

議案第9号資料1より抜粋

一般財政シミュレーション

年度	2022	2023	2024
起債制限比率 (%)	6.8	7.0	7.2
公債費負担比率 (%)	18.7	19.3	19.6

借金するな

地下式消火栓

地上式消火栓にせよ



阿部 利勝 議員

問

臨空工業団地にあまるめ分譲地

にのみ、地下式消火栓が設置されているが、冬季間は雪で埋もれる場合もあるし、凍結のおそれもある。管理等の対応はどのように行っているのか。また、今後、使いなれている地上式消火栓に変える考えはないのか。

町長

いまはその予定はない

町長

凍結については地下の熱もあるので、その危険性はないと思われる。冬期の管理は、地元の消防団落合班及び消防署余目分署から除雪の対応をさせていただいている。また、現在の消火栓は町に帰属しているため、故障等があれば町が修繕等の対応をしている。

埋設型消火栓の使い方は、消防団であれば感覚的に分かると思う。また、図解・マニュアル等を周知したので、迷わないで使用すると思う。今のところ地上型にする予定はない。



冬は見えるか

槽水等の撤去

使用不可状態を周知せよ

町長 周知しているが、なお考ええる

いることも周知すべきではないか。

きた。撤去することについては、直接分団長と班長に伝えている。

町長 庄内総合高校と余目中学校のプールは、酒田地区消防行政組合においては指定水利として指定していない。

旧本庁舎前の防火水槽撤去については、新庁舎設計の際に打ち合わせがあり、余目分署の方とも協議を行って

なお、今後使用可能な状態になった場合は、幹部会において伝えたい。または、メールなどで団全体に伝える方法を考えていきたい。



澁谷 勇悦 議員

問

役場庁舎の敷地内の貯水槽

は、撤去しても消防水利の基準をクリアできるといふことで廃止されたが、決定するにあたっては、地震時での貯水槽の重要性を認識するとともに、消火活動を担う消防団にも話し、使用不可能な状態になった時点で周知をすべきではなかったのか。また、余目中学校のプールは未使用のため水抜きが行われ、庄内総合高校のプールは撤去され、消火活動上、使用不可となって



消火のための水はなし 余目中学校

コロナ対策

ワクチン予約 集中回避せよ

町長 工夫し準備したい

町長 健康診断は2月に申し込みを行っており、申込者数がある程度決まっているので会場を振り分けているが、ワクチンについては余剰のないように対応しなければいけないため、全国の自治体でも予約の方法を取っている。

今後の予約方法も同じように対応する予定であるが、64歳以下が対象となることでLINEでの予約が増えるのではないかと想定している。なお、予約が集中しないよう郵送時期、予約開始日を調整するなど工夫をして準備をしていきたい。



齋藤 秀紀 議員

問

高齢者における新型コロナウイルスのワクチン接種の予約で、朝から晩まで電話してもつながらない。次の日も同じ傾向であった。健康診断では、集落単位で予定を組んで、都合の悪い人が連絡調整を行っている。ワクチン接種の予約も健康診断のやり方で行ってはどうか。また、先進地事例では、選挙管理委員会が予約を取りまとめることで成果を挙げている。今後は、混乱を避ける方法をすべきである。



ここまで来るのが大変でした 清川体育館

高速交通網整備促進

コロナ禍の要望活動はどうか

町長 収束状況を見ながら拡大

な運動、要望活動を考
えていくのか伺いた
い。



石川 保 議員

問

国道47号新庄
酒田道路（戸沢
立川間）が事業化決
定された。早期の全線
開通を願う意味で大き
な前進といえる。しか
し、廻館く狩川間は白
紙状態であり、課題と
なっている。

また、国内線連航の
拡充、国際化への対応
として重要な庄内空港
の滑走路を2500メ
ートルに延長する事業
は、山形県が国に要望
する重要要望事項にも
挙がっていない。
コロナ禍で活動が制
限される中、どのよう

町長

戸沢村とのフ
ォーラムについ
ては、国土交通省から
も高い評価を受けてい
る。少なくともこれまで
で行ってきたレベルは
下げないで今後も開催
していきたい。

要望活動について
は、引き続き必要だと



延長はまだか 庄内空港

思っている。庄内開発
協議会の中でしっかり
と行っていかなければ
ならないと思う。いろ
いろなキャンペーンや
県の要望も含め、新型
コロナウイルスが収ま
る状況を見ながら、さ
らに拡大をできるよう
考えていきたい。

図書館入札不落

資材高騰落ち着くまで待て

町長 状況も見極める必要がある



小野 一晴 議員

問

図書館改築工
事の入札が落札
しなかったが、原因分
析しているのか。

木材及び鋼材
の価格が現在世
界的に上昇している状
況であり、今後も続く
可能性がある中で入札
を行ったことが、不落
に繋がった一つの原因
と思われる。

問

資材高騰が予
定価格に正確に
反映されていなかった
とすれば、次回の入札
に地元業者を今一度指
名すべきでないか。

町長

地元業者を次
回の入札に再度
指名するかについ
ては、県の指導を仰ぎな
がら検討している。

町長

資材高騰はア
メリカから端を
発していると聞いてい
る。資材価格というの
は必要がなくなれば落
ちてくる。そういった
状況も見極める必要が
あると思う。

問

財政状況が悪
化するなか、今
後物価スライドで更に
予算が増額する恐れが
ある。資材高騰が落ち
着くまで入札を待つべ
きではないか。



高くつくなら少し待つて 建設予定地

マスク着用
厳守

みなさんの傍聴をお待ちしています。
傍聴は短時間でもできます。

※4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。
なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。
検温、手指消毒、マスク着用のコロナ対策にご協力下さい。
発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

インターネット議会中継

庄内町議会のホームページからアクセスできます。(6月総数614件)

- 立川総合支所、各地区公民館、図書館ロビーでも議会中継をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも議会中継、録画映像を視聴できます。

1 庄内町議会で検索



2 トップページ画像下の

議会中継 をクリック

3 スマートフォンなら

令和3年 ライブ 全ての
の ライブ ボタンをクリック
するなど。

町民の皆様が議会で発言

参考人招致 参考人募集中

町政全般について、広く町民の皆様にご意見を募っています。それを参考人となつて、議会定例会で発言できます。

参考人に応募していただき、決定しましたら、意見のテーマを考慮し、担当議員を1人決めます。しっかりと議員がサポートしますので、安心して応募いただけます。過去の発言内容は、庄内町議会HPで録画配信されていますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせは議会事務局までお願いいたします。●〆切 8月中旬

これまでの参考人招致による発言の主な内容



2019年9月

土づくりと後継者育成
北月山荘の冬の運営再開と関係人口など
芸術・文化協会と助成
保育園・幼稚園の民営化など

2020年3月

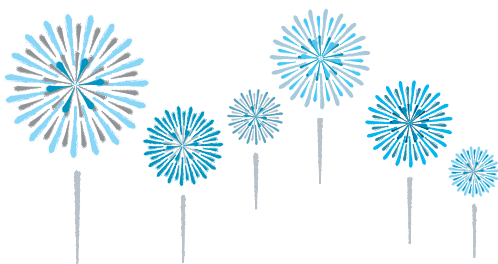
カラス・イノシシ鳥獣駆除と観光振興
重度の障がい児者支援
町営バスの充実と町づくり

2020年9月

しょうない氣龍祭・龍と姫龍
花の生産・花き種苗センター
男女共同参画社会・てまりの会
リベラルアーツ教育(音楽)とリトミック

2021年3月

障がいのある生徒達の高校が限られているなど
立川地区の整備とにぎわいの機会



ようこそ
議会傍聴へ

6月定例会 傍聴体験

余目第一学区・第四学区民生委員のみなさんのほか、延べ20人が傍聴



やはりライブは違う

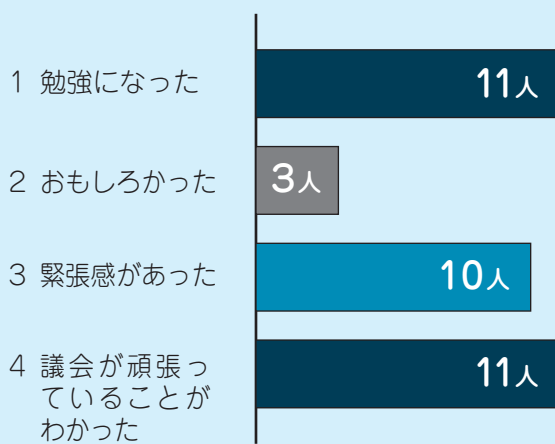
定例会は毎年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。議場の緊張感や議員と町当局のやりとりの真剣さなど、インターネット中継では感じ取れないことが体験できます。

感想〔抜粋〕

● 庄内町の町民として議会傍聴を初めて見学できました。
● 質疑応答がハッキリ聞くことができ、質問の内容も良かったです。
● 空き家問題は、これ

からも増えていき様々な課題の一つだと思った。
● もっと難しい内容の議論かと思っていたがローカルな質問かと思いました。また、専門的な用語の質疑については聞くのみで、十分に理解はできなかった。
● 初めて傍聴してみても大変内容が良かったです。これからの

アンケート結果18人（複数回答可）



● 頑張ってください。行政が取り組んでいる事業や課題についても良く知りました。議会を外から見る・聴くことで理解を深めることができていると思います。
● 日頃、気になる問題を具体的に細かく質疑応答があり興味深かった。
● 行政の回答が、やや具体性に欠ける。
● 同じ質問の繰り返しのように、時間も長すぎる。
● 議員も相当勉強しないと議論ができないことが良くわかった。良く勉強している。
● 傍聴して議会を身近に感じた。多くの人に参加を呼びかけたらと思う。

選挙

新たに選挙管理委員決まる

令和3年8月15日に現選挙管理委員の任期が満了となることから、新たに選挙管理委員及び補充員が決まりました。(賛成全員で当選)

間もなく現在の選挙管理委員の任期が満了します。
7月13日告示、18日投開票の町長選挙及び議会議員補欠選挙が最後の仕事となります。

新選挙管理委員

(敬称略)

・吉泉 豊一(再任)

久田字久田

・佐藤 和枝(新任)

狩川字山居

・今野 悦次(新任)

狩川字阿古屋

・兼古 由香(新任)

余目字沢田

新選挙管理委員補充員

(敬称略)

・本間 俊一(新任)

三ヶ沢字堰南

・上林 久恭(新任)

西小野方字西農

・清野 弘子(再任)

余目字上猿田

・佐藤 光江(再任)

狩川字小野里



具現化検討特別委員会調査中間報告書

今回は、議員定数、報酬等について議会としての考えをまとめ、中間報告としました。

(関連記事 17 ページ)

報告書〔抜粋〕

なり手不足解消特別委員会では6人の町民と共に調査した検討会議と、多くの町民から参加していただいた報告会での意見をもとに「庄内町議会議員なり手不足解消調査特別委員会調査報告書」を作成した。しかし、定数と月額報酬についてはその報告書とは異なる結論となった。

全員協議会で出された意見を振り返ると定数については、議会の権能を維持できる範囲でできる限り定数を削減し、その原資で議員報酬を増額させるという、なり手不足解消特別委員会の報告書に沿った考え方(12人28万円)

と、極端に削減すると逆に立候補しづらくなることや、町民の声を拾い上げにくくなることから一定の定数を維持(14人24万円)にするという二つの考え方に集約された。

議員一人当たりの月額報酬が6万5千円も増額することは、このコロナ禍において町民の理解が得られないとの意見が出され、採決の結果「定数14人、月額報酬24万円」となった。



真剣に議論

体親書

たい しん しょ



※具現化検討特別委員会 議会としての結論

定数 14人
報酬 24万円
月額

これまでの経緯

選挙で定数割れ

平成30年町議選では無投票での定数割れとなったことを受け（県内初）、町民とともに検討会を開催し、なり手不足解消など、多くの時間を費やし話し合ってきました。

その後、なり手不足解消の要因となる定数、報酬について議会としての結論を出すまでの内容をお伝えします。

町民との検討会

令和2年にどうすれば議会議員に立候補できる環境を整えることができるのか調査するために「なり手不足解消調査特別委員会（以下なり手不足特別委員会）」を設置、町民の検討委員とともに調査し「定数は4人削減して12人に、報酬は6万5000円増額して28万円にすべき」との結果を報告しました。

具現化検討特別委員会

これまでは、4年に一度実施される町議会議員選挙前の9月定例会に選挙後の新たな4年間の議員定数や報酬等を決めるための特別委員会を設置し全議員で協議し結論を出してきました。

今回は、すでに設置している「なり手不足解消調査特別委員会調査報告書具現化検討特別委員会」で協議し結論を出すことにしました。

なお、事前に町当局と調整した結果、新年度予算に反映させるため、6月定例会までに結論を出し、報告することになりました。

協議と採決

定数と報酬

これまで、町民の検討委員や報告会に参加していただいた町民から「立候補し責任ある議員活動をするには報酬が低い。増額すべき

と思うが、町の財政を考えるとその財源は定数を削減して賄うべきである」との意見をいただきました。

このことについては議会でも一定の同意を得たことから、定数と報酬についてはセットで議論しました。

協議で出された案

- 定数を11人とし 報酬は31万円 1人
 - 定数を12人とし 報酬は28万円 4人
 - 定数を13人とし 報酬は26万円 2人
 - 定数を14人とし 報酬は24万円 6人
 - 定数を16人とし 報酬は21万5千円 1人
- どの案も過半数に達しなかったため上位の2案で再度採決、9対5の賛成多数で定数を14人とし報酬は24万円とすることに決定しました。

定数を12人とし 報酬は28万円

主な理由

○町民とともにまとめたなり手不足特別委員会の報告は尊重すべき。後に議員だけで協議したら甘い結論に後退したとの印象を町民に与える。

○なり手不足特別委員会の報告と違う結論では、町民の検討委員や報告会で意見をいただいた町民に対し説明できない。

○これまでの報告会や町長との意見交換で、報酬総額が現状以内であれば議会の判断が尊重される下地ができています。

年間議員報酬総額は現状より減額になります

賛成議員5人

- 阿部 利勝
齋藤 秀紀
國分 浩実
小野 一晴
石川 保



**定数を14人とし
報酬は24万円**

主な理由

○極端に定数を削減すると逆に立候補しにくくなる。

○面積の広い町内をカバーすることや、議会としてのチェック機能を確保するために14人は必要。

○町長が諮問した平成30年の報酬等審議会の答申は重い。この答申を尊重すべきだ。

○コロナ禍で経済の影響が深刻化している。報酬総額が上がらなくとも、議員1人あたり6万5000円の報酬アップは町民の理解が得られない。

年間議員報酬総額は現状より減額になります

賛成議員9人

工藤 範子
石川 武利
長堀 幸朗
加藤 将展
上野 幸美
小林 清悟

まとめ

令和2年に、なり手不足特別委員会調査報告書を作成しました。しかし、定数と報酬については、それと異なる結論となりました。協議で出された意見

は前記した通りですが各議員がなり手不足を解消するために熟考したうえで結論です。

議員報酬増額にあたり「町の財政に傷をつけないこと」を念頭に協議しました。

正式には報酬等審議会を経て、報酬案がまとまります。なり手不足解消の一助となるかは、町民の判断に委ねるところではあります。議員を目指す人が増えることを期待します。

澁谷 勇悦
鎌田 準一
五十嵐 啓一

生声ひろば

クラッセ
金魚まつり



泳ぐ金魚が涼しそう

毎日の梅雨空がうそ
のように晴れ渡ってい
ます。

「しよらない金魚ま
つり」が6月24日(木)
から5日間、新産業創
造館クラッセで開催さ
れました。2年ぶりの
金魚まつりです。

26日の土曜日には金
魚すくいのできる日を
待ちわびた、たくさん
の子どもたちがやって
きました。

真夏を思わせる日差
しに、金魚屋さんの青

いテントは涼し
そうです。

振袖金魚とし

て有名な庄内金
魚たちも元気に
フリフリして泳いで
います。

おばあちゃんといひ
おばあちゃんに手を引
かれて来たのは、三浦
世菜ちゃん(7歳)と
妹の羽菜ちゃん(4
歳)。

世菜ちゃんは「金魚
さんに会えて楽しかつ
た」。金魚のようにか
わいらしい姉妹でし

た。金魚を見ているお
ばあちゃんも童心に
なっているようでした。
きつとお家でもこの
金魚たちがみんなを癒
してくれらることでし
ょう。

金魚屋さんは「今
日は予想以上にお客さ
んが来てくれて驚いた。
子どもたちの喜ぶ笑顔



がうれしい。コロナ禍
だからこそ祭りをやっ
てほしい」と本音でお
話しをしてしてくれまし
た。

紫陽花が咲く町並み
に、初夏の澄み切った
青空がいつぱいに広
がって、米倉庫の白い
瓦屋根はまぶしく光っ
ていました。

(將)

花き提供

庄内町花き振興会よ
り議場に生花を寄贈い
ただきました。



この議会広報誌が配
布される頃はいよいよ
東京オリンピックが間
近となつている。新型
コロナウイルスの感染
拡大からは1年半ほど
になるが、収束への決
め手となるワクチン接
種も進みつつあるの
で、開催への賛否両論
があるものの、1年延
期され、モチベーショ
ンを保つために苦労し
てきた選手たちを思う
と是非成功してもらい
たい。

新型コロナウイルス
の影響は都市部に限ら
ず、本町のような地方
でも広がっている。特
に飲食店は影響が大き
い。

20%還元事業があり、
店舗によっては売り上
げが2倍になるなど一
定の成果は見られた。
今後も国からの地方創
生臨時交付金による経
済対策が予想されるの
で、より町民の利益に
かなうものになりたい。
また、今後は、しっか
りとアフターコロナも
見据えた新たな施策を
求めたい。

(國分 浩実)

発行人
議長 吉宮 茂
議会広報常任委員会
委員長 國分 浩実
副委員長 澁谷 勇悦
委員 鎌田 準一
委員 加藤 將展
委員 阿部 利勝
委員 長堀 幸朗